

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-2 県立病院における良質な医療提供
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	病院局県立病院課長 坪内 清	電話番号	0853-22-5111
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	中央病院による地域医療への支援		
目的	(1) 対象	県内のへき地診療所等	
	(2) 意図	地域医療機能の維持	
事業概要	へき地診療所等の医師不在を補うため、当該医療機関に対して、代診医師を派遣する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			代診医派遣要請の応諾率	目標値		100.00	100.00	100.00	100.00
		代診医派遣決定件数/代診医派遣要請件数	実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	0	
うち一般財源(千円)	0	

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

代診医派遣要請件数は、概ね近年並であり、全てに承諾して代診医を派遣している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県からの依頼により、へき地・離島等の公立医療機関に対して代診医を派遣することにより、地域で勤務する医師に対する支援の一翼を担っている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

地域医療拠点病院の役割として代診医派遣は必要であるが、代診医機能を担っている内科系医師、産婦人科医師、外科系医師の負担が大きく、負担軽減のためには、医師の安定的な確保が必要である。

②困っている状況が発生している「原因」

医療従事者の確保が全国的に困難な状況が続いている。

③原因を解消するための「課題」

代診医派遣元である中央病院の医師を適切に確保、配置することが必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

関係大学や（一社）しまね地域医療支援センターとの一層の連携を図り、医師の確保・育成に努める。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）